



NO.1283

9月13日

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七



「市役所の位置を定める条例案」が正式に提案

慎重な審議を！

9月3日、総務経済委員会が開かれ、「網走市役所の位置を定める条例案」について審議が行われました。委員からは、市の財政は依然として厳しい。総事業費は？。金市館跡地に建てる場合の街のデザインが見えない。市庁舎が建つより、民間が活用した方が将来像を自由

な発想でできる。・新庁舎以外の公共施設の建替えも含めて財政の見直しを出すべきなど、質問や意見があがりました。

初めて正式に議会に出されたわけですから、慎重な審議が必要です。委員会は会期内の16日に再度行われる予定です。

みんなの幸せが自分の幸せ

「かけある記」

前衆議院議員 畠山和也



けたたましい緊急地震速報の音で目が覚めた時は、目を疑うような厚真町の山腹崩落や、広い

北海道がいつせいに停電に襲われることなど想像もできませんでした。被災者を励まし、要望を聞き、文書にもまとめ、地方議員・国会議員との連携などで、あつという間に一日が終わるといふ毎日でした。

あれから二年。家が地面へ滑り込むように傾くほど、目を疑うような液状化被害を受けた札幌市清田区里塚。生活インフラにかかわる工

事は年内に終了見込みで、「九割ほどの方が戻ってきます。地震があっても、長く住んだ地は『住めば都』なんです」と語る町内会長さんの目がやさしい。町内会の情報を避難していた方へも郵送し続けるなど、支え合いを大切にされてきているのです。

「みんなの幸せが自分の幸せ」とばかりに、「来年度へ持ち越しになった公園の工事が終われば、町内会の夏祭りをおこないたい。年に一度、子どももお年寄りも楽しみにしていた集いの場ですから」と語る言葉が胸に響きました。早く新型コロナウィルスの収束を願いつつ、誰ひとり取り残さない復旧・復興へ、私も力を尽くします。

補償奮闘も！



9月議会の一般質問が終わりました。今回質問は、1項目めは「新型コロナウイルス3波に備えた取り組みについてですが、安倍政権は、新型コロナウイルス感染症対策の「緊急経済対策」と、それに基づく補正予算を編成しました。

しかし、最大の問題は、「外出や休業要請と一体に補償を」という国民の圧倒的多数の要求に背を向けていることです。「補償なき緊急事態宣言」では、安心して自粛することも休業することもできません。これからの季節は、インフルエンザの感染が流行する時期とも重なるため、病院での「発熱やのどの痛み」など初期症状が、新型コロナかインフルエンザかの判断がつきません。医療機関の対応や保健所と市役所の連携が重要になっているので何点か質問しました。

2項目めは、コロナ禍における児童生徒への対応についてです。子どもたちもコロナによる影響が出ています。国の支援を求めるためにも問題点を明らかにする方向で質問しました。

村あげ



先日の朝、小学4年生の子どもたちと一緒に向陽の坂を登った。

学校の事を聞くと、給食は机を囲まずに正面を向き、あまり話さない。音楽や動画が流れたりして退屈はしないようだ。4年生は施設見学があるよねと聞いてみると、コロナで行事がなくなっているから見学はないかも。市職員の時、浄水場で絵本「しずくのぼうけん」を読み聞かせた後、藻琴山のふもとで湧く水が網走まで来ることを話すと児童は真剣に聞いてくれて嬉しかった。



30分の登校ウォーキング。仕事は変わっても、目を輝かせて話す子ども達から元気をもらえた。少しだけ汗が出て気持ちよく坂を下った。今度は絵本を持って登ろうか。

流水

▼全国世論調査で、内閣支持率36%に下落、非常事態で早急に国会を開けとの多くの国民の声を無視していた安倍首相が、突如辞任を表明した。

健康上の問題との事だが、内政、外交、新型コロナウィルス対応等、深刻な政権の行き詰まりで、二度目の政権投げ出しだ。民主党政権に対し「悪夢」と言い、「天に唾す」安倍首相、民主主義や、国民の暮らしなど、数多くのものを壊した。『森友、加計』『桜をみる会』の疑惑は政治の私物化で、辞任してもその責任は免れない。▼コロナ感染症の影響で何処へも行けず、ズブの素人が野菜作りに挑戦、種を蒔き、草を取る。季節の移ろいを感じる。何にして食べようか『オデン？』『フロッキー大根』も旨いなど、大根の種を蒔く。何年か前、兄の菜園にトウキビを植えた。畑には堆肥が入っていて、トウキビに太い大きな実が、二本付いた。食べ頃となり、兄と収穫に行く。畑が荒らされ、トウキビが一本残らず盗まれていた(100本程実っていた)そんな事もあったナーと、早朝小川で水を汲む。気が付けば、コスモスが咲いている。空は青く高く、光は鈍い緑色。海岸を走れば、重たい風が海から汐と、海藻の匂いを運んで来る。

アスリート爺